

## 日 誌 (昭和43年6月)

## 【海 外】

- 1日 ○英国大蔵省、香港公的当局保有ボンド資産に対する為替保証措置を発表  
○英国政府、香港の公的準備資産に対し、香港ドル建政府証券の発行を決定
- 3日 ○IMF、総務会による規約改正(SDRの創設が主)承認を発表
- 4日 ○米国下院歳入委員会、貿易問題公聴会を開始  
○フランス、IMF資金(745百万ドル)引出し
- 5日 ○イタリア、モロ内閣総辞職
- 6日 ○フランス政府、中小企業救済措置等を決定
- 7日 ○フランス、パリ諸取引所再開
- 8日 ○米国連邦準備制度理事会、株式等に対する証拠金率を引上げ
- 10日 ○米国、西ドイツ駐留米軍経費の為替補償問題につき西ドイツと合意成立  
○米国・西ドイツ両政府、本年度為替補償協定を締結
- 12日 ○デンマーク国民銀行、公定歩合を引下げ(7.0 → 6.5%、13日から実施)
- 13日 ○カナダ、特許銀行に対するスワップ預金自粛要請を解除
- 17日 ○フランス、GAB債権(140百万ドル)の譲渡を実行
- 18日 ○フランクフルト金取引所における金取引開始
- 19日 ○英国、IMF資金(14億ドル)引出し  
○西ドイツ金融機関、対米為替補償協定に基づく米国政府証券購入契約に調印
- 20日 ○米国、増税・歳出削減法案、下院を通過(上院は21日に可決)
- 21日 ○フランス銀行、中期信用手形保有率の引下げ(16→14%)と再割引限度の引上げ(20%)を実施
- 23日 ○フランス、国民議会選挙(第1回投票)
- 24日 ○英国高等法院、ウェストミンスター、ナショナル・プロビシヤル両行の合併を承認
- 26日 ○カナダ下院総選挙、与党の自由党過半数を確保  
○フランス政府、物価・輸出入対策を発表
- 27日 ○フランス銀行、輸出関係手形再割引金利を引下げ(3.0→2.0%)
- 29日 ○南ア、IMF資金引出し
- 30日 ○英国、ガンター動力相辞任  
○フランス、国民議会選挙(第2回投票)